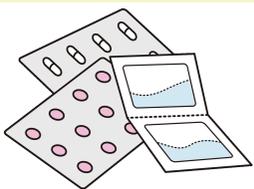


★薬との正しい付き合い方

薬を適切に保管する

直射日光や高温多湿を避け、子どもの手が届かない所に保管しましょう。誤飲等を防ぐためにも、薬以外のものと区別し、他の容器に入れ替えないことも大切です。



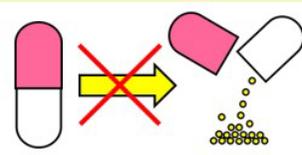
用法・用量を正しく守る

薬は必ず決められた飲み方や量を守って使用しましょう。

食前: 食事の1時間～30分前 **食後**: 食事の後30分以内

食間: 食事と食事の間のこと。食事の2時間後が目安

勝手に錠剤を割ったり、カプセルを分解しない
適切な効果が得られなくなってしまいます。



他人に薬を譲り渡さない

調剤された本人以外が使うと、アレルギーや有害反応が起きる事もあるので、**自分の薬を他人にあげてはいけません。**

薬は医師の指示通り全て使い切る

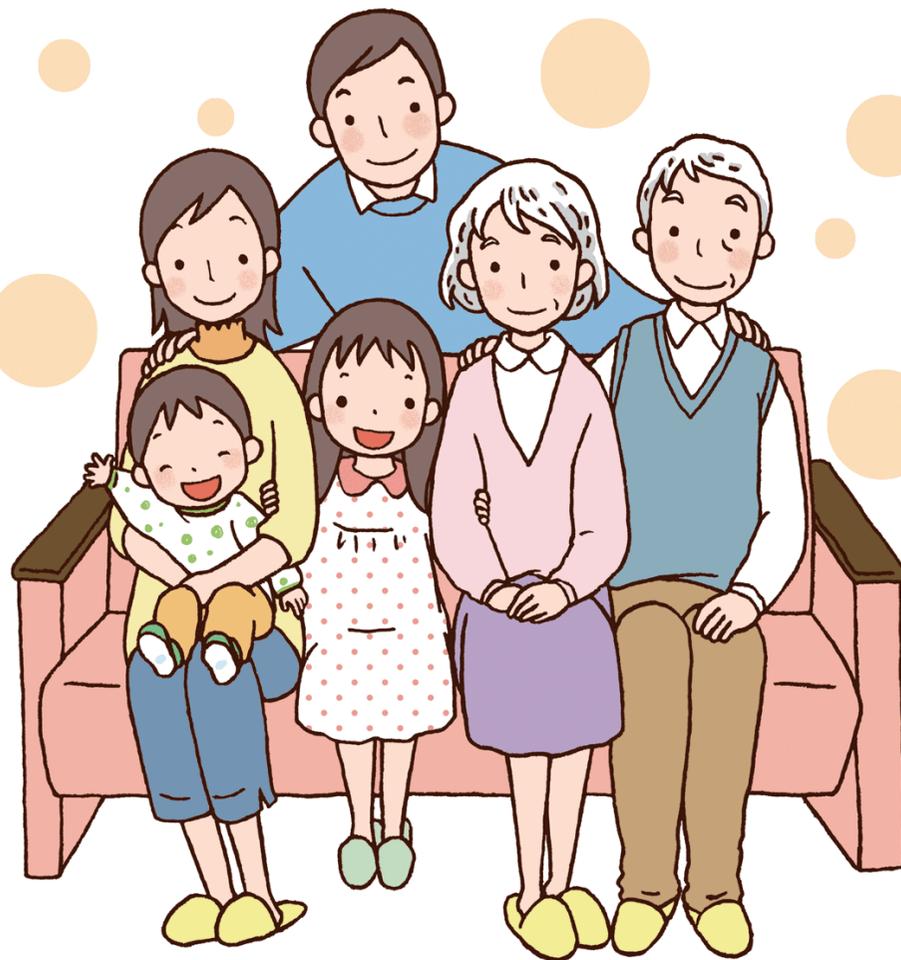
例えば抗生物質(抗菌薬)を自己判断で飲んだり飲まなかったりすると、生き残った病原菌が身体の中で、**現在ある薬で治療できない薬剤耐性菌**に変化する恐れがあります。こうした事態を防ぐためにも、薬はきちんと飲み切りましょう。

薬が減っても不安にならない

症状が改善した場合などに、医師が薬を減らすこともあります。薬が減ったからといって、不安になる必要はありません。また、むやみに薬を欲しがらないことも大切です。

高齢者のための

くすりの知識



★連絡先★ 川崎市健康福祉局保健医療政策部
医事・薬事担当
044-200-2460



川崎市HP
「かかりつけ薬剤師
・薬局について」

監修 / 一般社団法人川崎市薬剤師会、川崎市健康安全研究所所長 岡部信彦

川崎市